

### 1 塗装対象

屋内木部(天井、床、腰板等)全般  
 木製家具 / 木製建具  
 屋外木部(ウッドデッキ、外壁等)全般

### 2 仕上げ

カラー	塗装後の仕上がり
FP03 FPライトオーク ~	木目を活かす仕上げ / ツヤなし 木目をつぶす仕上げ(塗りっぱなし塗装) / ツヤなし~2分ツヤ

### 3 塗装工程

工程	塗料製品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 (ml / m <sup>2</sup> )	塗り回数	その他	
事前準備	① サンプル	事前にサンプルを入手し、ご利用の木での試し塗りを推奨。(当社ホームページより入手可)				
	② 塗装する木材の含水率	塗装する木材の含水率は20%以下が適しています。				
	③ 汚れ取り	埃、水分、油分を除去し、ヤニは、研磨、溶剤処理にて取り除いてください。				
	④ サンドペーパー掛け	必要に応じて、サンドペーパー(#180~240が目安)にて研磨してください。				
塗装工程	⑤ 攪拌	使用前によく攪拌してください。(特にカラー系は顔料が沈殿しているため、よく攪拌してください。)				
	⑥ 1回目 下塗り処理	木守り専科 FIRE Protect専用 防災強化下塗り剤「FPベース」 <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small>	無希釈	50	1回目 (乾燥後2回目)	薄塗~厚塗
	⑦ (ふきとり(不要))+乾燥	期待する防災効果を高めるため、塗りっぱなし、またはどぶ浸けで施工。本塗装後、約24時間乾燥させてください。				
	⑧ 2回目 下塗り処理	1回目の塗装が完全に乾いた後、1回目と同様に2回目を塗装。				
	⑨ 乾燥	2回目を塗装後、約24時間乾燥させてください。				
	⑩ 3回目 本塗装	木守り専科 FIRE Protect(WPライトオーク ~) <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small>	無希釈	50~75	3回目	薄塗
	⑪ (ふきとり(不要))+乾燥	屋内ではふきとり、屋外では耐候性も高めるため、塗りっぱなしで施工。本塗装後、約24時間乾燥させてください。(屋外は2回塗り推奨)				

### 4 注意事項

- ① 本塗装は、刷毛(市販の油性塗料用で、豚毛、馬毛等やや硬めのコシの強いもの)、またはコテバケ、スポンジ、布(ウェス)等で、薄く均一に行ってください。
- ② 塗装用具の洗浄には「U-OIL専用クリーナー」をご利用ください。(パンフレットを参照)
- ③ 基本下塗り2回、本塗装1回~2回塗り。本塗装は薄塗りで塗装してください。厚塗りをすると乾燥の遅れ、期待する防災効果が出ない場合がありますので、ご注意ください。
- ④ 夏場の高温時は乾燥が速まることがありますので、ふきとり仕上げの際は早めのふきとりをおすすめします。長い時間放置すると塗料が乾燥し、色ムラになることがあります。
- ④ 冬場の低温時、湿度が高い時は、乾燥が極端に遅くなる場合がございますので、その際は長めに乾燥時間を取ってください。
- ⑤ 使用した刷毛、コテバケ、スポンジ、布(ウェス)等は自然発火の恐れがありますので、水を含んだ状態、または焼却にて処分してください。
- ⑥ 木守り専科 FIRE Protectは消防法に係る「防災製品」となります。建築基準法に係る「不燃~難燃材」、「防火材」とは異なります。予めご了承ください。

